

## 他の道路事業の費用便益比

平成17年度予算に向けた新規採択時事業評価及び再評価における道路・街路事業(297事業)の費用便益比のランク別の件数を集計した。

費用便益比1~2の事業が約140件と多く、費用便益比1~5の間のランクでは、費用便益比が高くなるにつれて、事業件数が少なくなる傾向にある。外環の費用便益比は3.3であり、平均よりも上位に位置する。

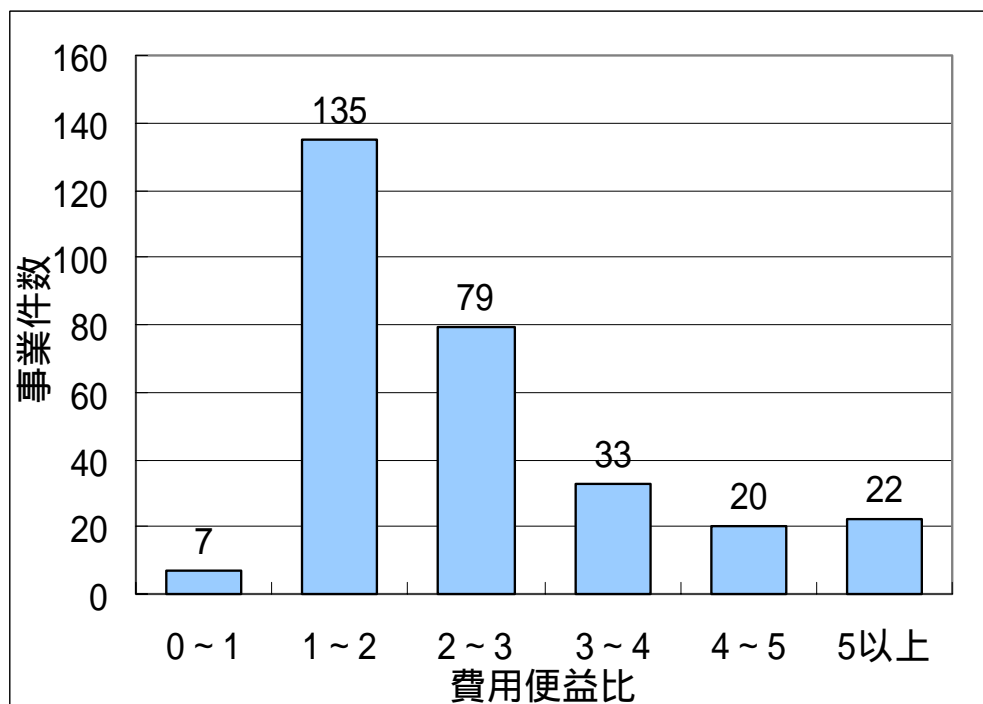


図 道路・街路事業の費用便益比の度数分布

(新規採択時事業評価、再評価を対象)

「評価手続き中」の事業が1件あるため、グラフの事業件数の合計値と、「道路・街路事業」の全事業件数とは一致しない。

資料：平成17年度予算に向けた新規採択時評価結果一覧

平成17年度予算に向けた再評価結果一覧

### 主な事業の費用便益比

1) 首都高速中央環状新宿線	[2.3]
2) 首都圏中央連絡自動車道(八王子~青梅)	[2.7]
3) 首都高速大宮線	[2.0]
4) 第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)	[2.9]
5) 本州四国連絡道路	[1.7](事後評価)
6) 東京湾アクアライン	[1.9](事後評価)